

## 福 中村恭輔さん所属「ボルク北九州」が全国大会へ 智出身の守護神が全国の頂へ挑む

12月7日・8日に開かれた「プーマカップ2014全日本フットサル選手権九州大会」で、中村恭輔さん(西金田)が所属する「ボルク北九州」が見事優勝に輝き、3年連続となる全国大会



へのキップを手にししました。主将を務める中村さんは、「ここまでこれたのは家族や仲間のおかげです。アジアのチームなど強豪ばかりの大会ですが、福智魂を胸に頂点を目指します」と、夢の日本一へ熱いまなざしを向けていました。全国大会は3月7日から愛知県で行われる予定です。

←ゴレイロ(ゴールキーパー)として、チームの快進撃を文字通り体を張って支えている中村さん。

↓豊島さんの話を聞き逃すまいと、時折メモをとりながら熱心に耳を傾ける参加者。



## 介 認知症スキルアップ研修会 護の極意は相手を想う優しい心

認知症スキルアップ研修会が2月14日に金田分館で開かれ、認知症サポーターなど82人が参加しました。福岡和白リハビリテーション学院の豊島宇茂さんが「認知症の『人』との接し方・関わり方」をテーマに講演。豊島さんは「認知症は本人と介護者の共同作業が大切。できないことではなく、できることに目を向けましょう」と、介護の心得や助言を参加者に送っていました。

## 腕 平成25年度男性料理教室 を磨いて男も磨く一石二鳥の料理教室

食進会主催の「男性料理教室」が1月から2月にかけて、町内3保健センターで開催されました。3会場あわせて33人が参加した教室は、肉・魚・卵料理とテーマ食材を変えて3回ずつ実施。参加者たちは食進会のメンバーによる手ほどきを受けながら料理の技術や知識を学び、試食後には「家でも作りたい」と感想を話すなど、料理の楽しさに目覚めたようでした。



↑初めて包丁を握るといふ人も楽しめるよう、食進会のメンバーが優しくサポート。

↓見事なパスワークで相手ゴール前までボールを運び、鋭いシュートを放つ出場者。



## 仲 第7回福智町子ども会フットサル大会 間と共に優勝目指して全力プレー

2月2日に金田体育館と金田屋内競技場で、子ども会育成連絡協議会主催の「フットサル大会」が行われました。20チーム125人が集結した会場では、出場者たちが保護者の熱い声援を受けながらコートに所狭しと駆け回り、手に汗握る熱戦を繰り広げていました。【優勝】小学生低学年の部：ジュニアチーム、小学生高学年の部：ザック JAPAN、中学生の部：ALL STAR

↓個性的な猪口の数々を前に、「あの人にはどれがいいかな」と品定めする女性客の姿が多く見られました。



## ち 上野焼特製バレンタイン“ちょこ” ょこっと変わったプレゼント

「上野焼バレンタイン“猪口”」が2月1日から14日の間、上野焼陶芸館で発売されました。上野焼を身近に感じてもらおうと、6年前から始まったこのイベントは、「甘い物が苦手な人にも贈りやすい」と若者からお年寄りまで幅広い層で大人気。7回目となる今年は、11窯元がハート型の飲み口や干支の馬などをあしらった特製のお猪口330点を出品しました。恒例の猪口を納める博多織や久留米紬のきんちゃく袋も販売され、来場者は特別な相手を思い浮かべながら、ひとつひとつ手にとって慎重に品定めしていました。

## 多 福智町青少年健全育成講演会 くの関わりで子どもたちの心を豊かに

2月21日に金田分館で青少年育成町民会議主催の講演会が開催されました。幼児教育専門家の熊丸みつ子さんが講師となり、息つく間もないほどの弾丸トークで自身の子育て論を展開。「子どもは子育てに関わる大人をまねしながら成長します。豊かな心を育てためには、親だけでなく、多くの大人が子育てに関わる地域づくりが大切です」と、来場者に強調していました。



↑持ち前の弾丸トークを武器に、全国で年間700回以上も講演活動を行う熊丸さん。

↓慣れないスキー板の操作に苦戦しながらも、真剣な表情で練習を重ねる参加者。



## 雪 青少年育成町民会議主催「冬季少年のバス」 の感触と友情を心に刻んだ3日間

広島県の恐羅漢スノーパークを舞台に、1月24日から2泊3日の日程で「冬季少年のバス」が行われました。参加した小学生28人の中にはスキー初挑戦の子も多く、始めはおそるおそるの滑走でしたが、指導者や仲間と練習を重ね、最終日には上級コースに挑戦するほどまで上達。校区や年齢の垣根を越えた仲間と過ごした3日間は、参加者の心に深く刻まれたようです。